

学院本部

宅建「試験・講座の概要等」視聴レポート

校名 池袋 校

氏名 尾澤直也

1. 「試験・講座の概要等」の講義で最も印象に残ったことを記述して下さい。

今回の映像を印象に残したのは「過去問題集の解法と復習の重要性についての内容です。単一問題を解くだけでなく、問題と簡単は必ず解説と読み、正解とどこが本に載つたかを確認し、さらにテキストに戻って理解するという学習の流れが、合格への鍵であると強調されました。また「問題を解くのはスタートに過ぎない」という言葉は、単習姿勢の一端に非常に重要な感じました。最初は理解できなくて当然であり、だからこそ全体に亘りて、どこが本からなーかを把握して講義へ臨むことが大切だというアドバイスにも納得しました。講義中は書くことよりも理解することを優先するというのも、意外と忘れていた意識ですが單題ではなく感じました。宅建試験は単なる論記ではなく、思考力を問われる試験になるので、難易度を上げるうえでより引き続き必要な要素がまた増えました。

2. 学院生を合格させるための担当者としての決意を記述して下さい。

一番重要なのは初回の講義(特別研修会)と、そこから7-8週間で構成します。在籍の人数が非常に多いので、まずは教室内一件だけ作業室が本になれます。みんな状況の前に勉強に集中し、競争心を持ち、実際には高得点を狙うような教室の雰囲気になります。心がけた連絡するところが大事であります。便りは原則にて内立し、合格へのルート以外をやめてあれば厳しく正し、悩んでらば生徒には親身に相談に乗ります。また、複数の重要なが生徒の信頼を作り上げていくのであります。まずは一人一人の弱点を手帳にて、自分本で手書きでしめています。勉強に対する意気込み、貴重な時間と割り切った勉強による講生が「合格校へ向けて」を思ってくふすう、丁寧をせねばすこひへ合格率の向上、日本学院の評判を上げることにつながることを想うので、気をひきしめて頑張ります。

学院本部印	事務局長印